

世界恐慌と中国との戦争

1. 世界恐慌と各国の対応

(1929)年、アメリカのニューヨーク株式市場の株価が大暴落したことがきっかけで、急に不況になりました。



アメリカの多くの会社や銀行、工場などが次々と倒産し、失業者が急増する事態に。

そしてその波は世界に広がりました。

これを **世界恐慌** といいます。

ソ連では

(資本)主義諸国が不況で苦しむ一方、ソ連だけは恐慌の影響を受けませんでした。

なぜ？
ソ連は(社会)主義国家だったので、資本主義国とは経済関係をもちなかつたため。

これからは社会主義の時代が来るかも！
これにより、社会主義革命をめざす運動が激しくなった。

詳しくいうと、ソ連ではレーニンの死後、(スターリン)がリーダーになり、共産党の 一党独裁体制 を進めていました。

スターリンは(五か年計画)をたて、国のすべての土地や工場などを国有化し、計画に従って経済活動を行っていました。

スターリンの政策に反対する人々を弾圧した

- 五か年計画 (
 - (重工業)の発展 ... 工業生産数は右肩上がり ↗
 - (農業の集団化) ... 完成しても農業生産高はあまり